



資料1

第1回障害児の支援体制検討会

令和7年6月25日



ともに生きる社会
かながわ憲章

KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society

Kanagawa Prefectural Government

ともに生きる 翔子

障害児の支援体制検討会について

■検討会設置の主旨

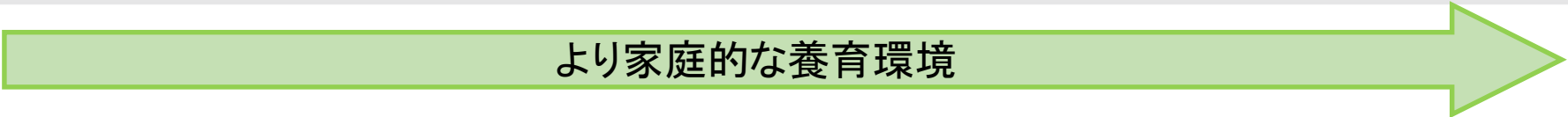
県では平成23年の「社会的養護の課題と将来像」の策定以降、現在では10年間を計画期間とする「神奈川県社会的養育推進計画」により、特に社会的養護を必要とする子どもを心身共に健やかに育成するための施策を重点的に示している。

計画における社会的養育の体制整備の基本方向として、「家庭と同様の養育環境」とされる里親等への委託や「できる限り良好な家庭的環境」として小規模グループケアを進めることとしている。

こうした中、社会的養護を必要とする児童の里親等への委託率は増加傾向にあるものの、障害児の委託率を見ると、わずか1%に留まり、依然として、施設での養育が中心となっている。

そこで、社会的養護を必要とする障害児がより家庭的な環境で養育できるようにするために必要な支援体制について、学識経験者や障害児養育に携わる関係機関を構成員とする検討会を設置し、かながわから新たな障害児支援のあり方を発信していく。

社会的養護と障がい児支援



社会的養護

施設

児童養護施設
乳児院
児童心理治療施設
児童自立支援施設
母子生活支援施設

小規模グループケア
※本体施設や地域において、
小規模なグループによるケ
アを行う

地域小規模児童養
護施設
(グループホーム)
※本体施設の支援のもと
地域の民間住宅等を活用
し家庭的環境で養育

小規模住居型児童
養育事業
(ファミリーホーム)
※養育者の住居におい
て家庭的養護を行う

児童自立生活援助事業 (自立援助ホーム)
※児童養護施設等退所後、就職する児童等が共同生活を営む
住居において自立支援

里親

養育里親
専門里親
養子縁組里親
親族里親

障がい児支援

施設

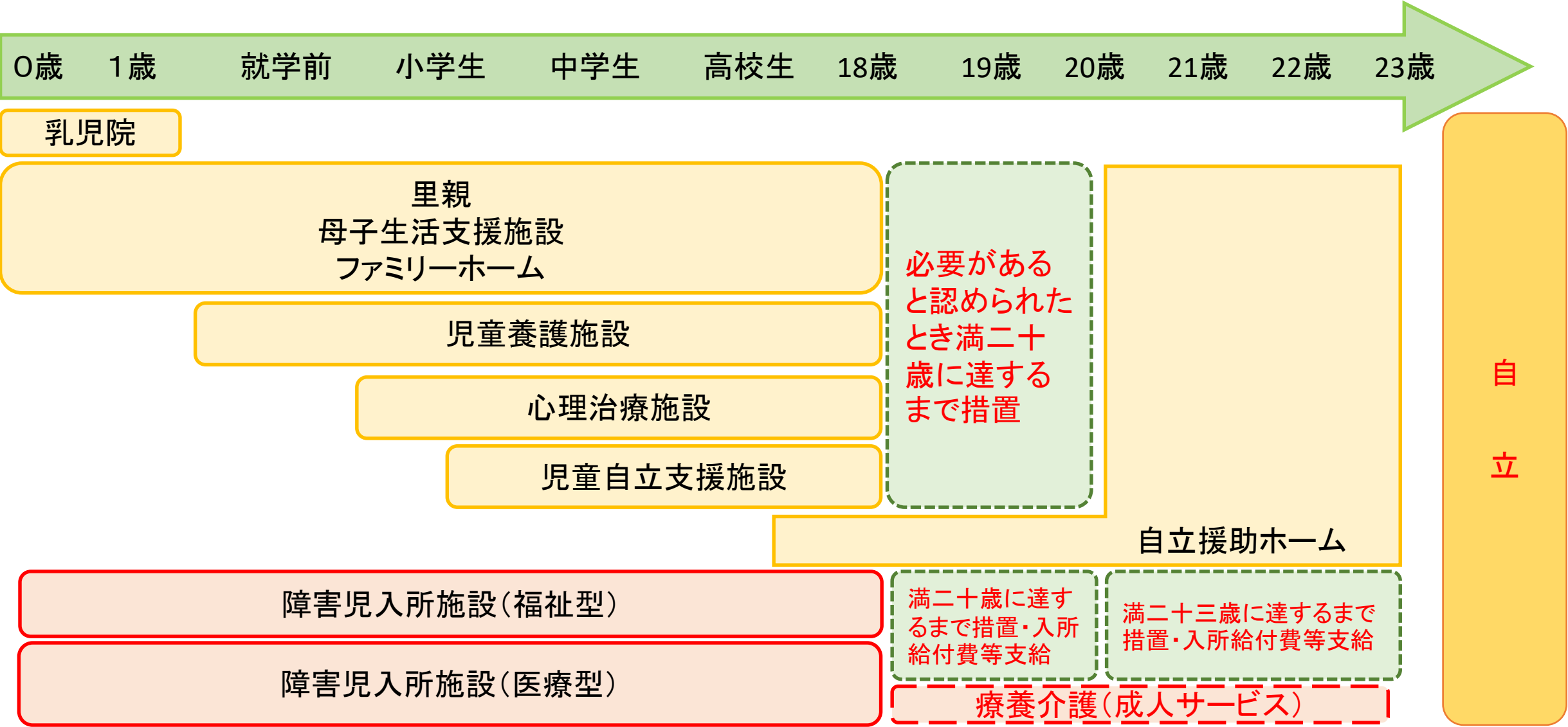
障害児入所施設
(福祉型・医療型)

小規模グループケア
※本体施設において、小規模なグルー
プによるケアを行う

サテライト型
小規模グループケア
※本体施設から分離した場所で小規模な
生活単位を設けて支援を行う

低い委託率

年齢に応じた養育環境



県内（県域）の施設・里親の状況

施設養護

（令和7年3月31日時点） ※入所児童数は令和5年度末データ

障害児入所施設	指定件数	内小規模グループケア実施施設	内小規模グループケアサテライト型実施施設	入所児童数
福祉型障害児入所施設	7	3	0	214
医療型障害児入所施設	4	0	0	37
合計	11	3	0	251

家庭と同様の養育環境

（令和7年3月31日時点）

里親 ※外部非公表	登録件数	委託児童数
養育里親	307	118
内 専門里親	8	4
内 養子縁組里親	153	3
親族里親	5	5
合計	312	130

小規模住宅型児童養育事業	登録件数
ファミリーホーム	1
合計	1

家庭的な環境、家族と同様の
養育環境の資源が不足している

検討スケジュール（想定している流れ）

開催時期		検討内容(想定)
第1回	6月25日	・委員顔合わせ ・検討会設置の経過、今後の進め方等 ・障害児養育の現状と課題(在宅・地域、施設、里親)(論点整理)
第2回	8月頃	・論点整理を受けての解決策の検討①
第3回	9月頃	・論点整理を受けての解決策の検討②
第4回	11月頃	・報告書案について 盛り込む内容についての項目立て等
第5回	1月頃	・報告書まとめ

※結果を踏まえて今後の事業化を検討

在宅・地域における障害児養育の現状と課題

	課 題	原 因	対応の方向性
在宅・地域	・ 障害児を受け入れている専門里親を含む養育里親への支援が不足している	・ 里親であることが限定した範囲でしか知られておらず、障害児支援・資源等に係る情報が行き届いていない。 ・ 障害児養育に係る専門的フォローが必要。	・ 障害児特有の課題等について、地域の中核的機能を担う児童発達支援センターや入所施設が障害児を受けて入れている里親のフォロー？
	ご意見をお願いします		

障害児入所施設における障害児養育の現状と課題

	課 題	原 因	対応の方向性
障害児入所施設	・ 施設・設備の改修が必要	・ 1970年代に建てられた施設は、大規模施設であった。居室も個室化されていないため、小規模化に対応できない。	・ 民間社会福祉施設整備補助金（国庫補助）の活用
	・ 人員不足	・ 入所施設の人員配置を満たすことで手一杯で、小規模化するための人員確保が難しい。	・ ロボ・ICT補助金（国庫補助）の活用（介護ロボの活用、見守りシステム、コミュニケーションアプリによる職員間のリアルタイムな情報共有など）
	ご意見をお願いします		

里親の障害児受入れの現状と課題

	課 題	原 因	対応の方向性
養育里親 (専門里親)	・ 障害児の受入れについて積極的ではない。	・ 里親研修カリキュラムにおいて、障害児支援に関する内容が少ない。 <u>研修（座学）において障害児に係る単独のコマはない。</u> <u>養育実習研修では障害児入所施設は対象外。</u>	・ 研修カリキュラムに障害児養育に係る座学研修、障害児入所施設の見学、実習等の障害児支援に係る内容の充実を図る。
	ご意見をお願いします		